

結果の要約

1 職業

青森県の15歳以上就業者数(685,401人)を職業大分類別にみると、「生産工程・労務作業者」が186,867人(15歳以上就業者数の27.3%)と最も多く、次いで「事務従事者」が104,619人(同15.3%)、「農林漁業作業者」が93,464人(同13.6%)などとなっている。平成12年と比べると、「サービス職業従事者」が8,299人(14.2%)増、「保安職業従事者」が346人(1.6%)増となっている。一方、「管理的職業従事者」が3,487人(19.3%)減、「運輸・通信従事者」が4,269人(13.4%)減などとなっている。

職業4部門別割合は、「生産・運輸関係職業」が31.3%と最も高く、次いで「事務・技術・管理関係職業」が28.6%、「販売・サービス関係職業」が25.6%、「農林漁業関係職業」が13.6%となっている。平成12年と比べると、「販売・サービス関係職業」、「事務・技術・管理関係職業」がそれぞれ1.9ポイント、0.2ポイント上昇しているのに対し、「生産・運輸関係職業」、「農林漁業関係職業」がそれぞれ2.3ポイント、0.3ポイント低下している。

「事務・技術・管理関係職業」 = 「専門的・技術的職業従事者」 + 「管理的職業従事者」 + 「事務従事者」
「生産・運輸関係職業」 = 「運輸・通信従事者」 + 「生産工程・労務作業者」
「販売・サービス関係職業」 = 「販売従事者」 + 「サービス職業従事者」 + 「保安職業従事者」
「農林漁業関係職業」 = 「農林漁業作業者」

2 就業時間

15歳以上就業者の平均週間就業時間は43.1時間で、職業大分類別にみると、「農林漁業作業者」と「運輸・通信従事者」が48.0時間と最も長く、次いで「保安職業従事者」が45.6時間、「販売従事者」が44.4時間などとなっている。平成12年と比べると、「保安職業従事者」が0.7時間増となっている。一方、「サービス職業従事者」が2.3時間減、「販売従事者」が1.7時間減などとなっている。

3 夫婦の労働力状態、職業

夫婦の労働力状態をみると、夫と妻ともに就業者である夫婦が164,964組(夫婦数348,697組の47.3%)と最も多く、次いで夫が就業者で妻が就業者以外である夫婦が92,490組(同26.5%)などとなっている。また、夫と妻ともに就業者である夫婦の職業をみると、夫と妻ともに「農林漁業作業者」である夫婦が27,676組(夫と妻ともに就業者である夫婦数の16.8%)と最も多く、次いで夫と妻ともに「生産工程・労務作業者」である夫婦が16,953組(同10.3%)などとなっている。

4 従業・通学時の世帯の状況

従業・通学時の世帯の状況をみると、「通勤・通学者のみの世帯」は130,922世帯(住宅に住む一般世帯501,542世帯の26.1%)となっている。一方、通勤・通学者以外の世帯員がいる世帯は370,620世帯(同73.9%)で、このうち通勤・通学者以外の世帯員が65歳以上の「高齢者のみ」の世帯が122,736世帯(同24.5%)、「女性のみ」の世帯が67,380世帯(同13.4%)、「高齢者と女性のみ」の世帯が33,351世帯(同6.6%)となっている。

図1 青森県の職業（大分類）別就業者数（平成12年，17年）

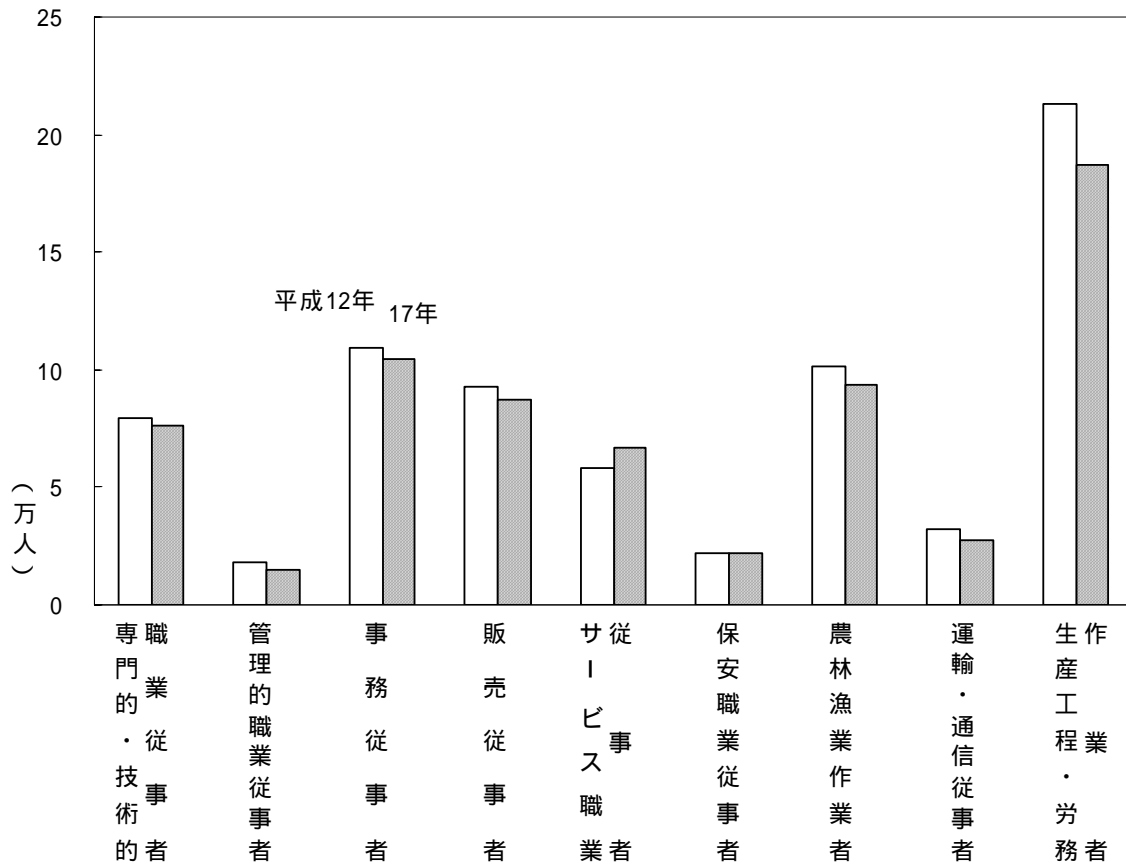


図2 青森県の職業（4部門）別割合の推移（昭和55年～平成17年）

